

式辞（令和五年度卒業証書授与式）

七戸町、町長、小又 勉（こまたつとむ）様をはじめ、多数のご来賓と保護者の皆様のご臨席を賜り、第七十四回青森県立七戸高等学校卒業証書授与式を挙行できますことに、厚く御礼申し上げます。

卒業証書を手にした皆様、おめでとうございます。皆様のお名前は、創立九十八年、上北地方屈指の伝統をもつ本校の卒業証書台帳に確かに刻まれました。今日から本校が母校となる皆様と、私が入学を許可しながらも、この日をともに迎えることができなかった私たちの仲間へ思いを寄せ、教職員を代表して最後のお話しをします。

私たちの住む太陽系第三惑星「地球」。殆どの人は、この地球を外から眺めることはありません。その貴重な体験をした宇宙飛行士は、一様に、絶望的なまでに広がる暗黒の宇宙に、圧倒的な死を。そして、その中に小さく青く輝く、生命に満ち溢れた地球と、その脆さ、儚さ、美しさに畏敬の念を感じるのだそうです。

この地球上で、動物、植物、細菌、コロナのようなウイルスも含め、あらゆる生物は地球表面の海（水圏）、陸地（岩石圏）、大気（気圏）中に住んでいます。それは地球の半径のたった300分の1以下、約20kmというわずかな圏域（生物圏）。宇宙から見た大気圏はまるで生卵の黄身をおおう薄皮のようです。そこでは、水、空気、岩石、光、温度などの無機的な要素と、動物、植物、細菌などの生物要素との間で絶え間なく物質のやり取り（物質循環）が行われ、完全なリサイクルが行われています。暗黒の宇宙の奇蹟の星・地球では、そのほんの薄っぺらな、ごくごく限られた生物圏の中で、生きとし生けるもの、すべてのものが、何らかの役割を担い、絶妙なバランスを保っているのです。

ただし、それは、私たち人間を除いてのお話です。

では、人間とは何か？私たち、人間は、意志をもち、意志に従って、それぞれが異なる自分の生き方を求める動物です。人は、意思を持つことによって、人間として生きてゆくことができます。しかし、その意志は、おうおうにして、地球のシステムにそぐわないことがあります。

人間は、生きるために、あるいは自らの欲望のために、地球からエネルギーを奪い、生物圏を破壊し、他の生物の命を奪います。また、自らの正義を振りかざし、戦争を引き起こし、同じ種である人間の命をも奪い、ようやく作り上げた生活環境や社会制度をいとも簡単に破壊します。しかし、その一方で、強い意志をもって、地球の生命を守るために、人の命を守るために、命がけで行動する人々もいます。それが人間の持つ意志なのです。

人は生きるために意志を持たなければなりません。しかし、人間は、残念ながら、欲望、先入観、偏見を持ち生まれてきます。そして、その本質から逃れることができず、何度でも同じ過ちを繰り返すのです。ですから、人

間という動物は、正しく先人の話を聞き、謙虚になって、正しく学び続け、世のため人のために生きる意志を持つ努力をしなければなりません。

私は、3年前。この場所で、高校で学ぶことの本当の意味について考えること、そして、七戸高校を選んだ自分の覚悟に従い、この社会を生き抜くため、「夢を持ち続ける力」、「人として大切なことを見極める力」、「正義に生きようとする力」を身につけて行ってほしいとお話しし、入学を許可しました。

「0.647」この数字は何だと思いませんか？これは、世界経済フォーラムが発表した令和5年度の日本のジェンダーギャップ指数です。0は、「完全な不平等」。1は、「完全な平等」。日本は世界146か国中125位。先進国では、最低のスコアです。皆さんがこれから進む社会には、このような、性による差別はもちろん、この他にも、皆さんの行動、活動を阻む、目に見えないガラスの天井が無数に存在します。しかしながら、私は、皆さんたちだからこそ、このガラスの天井を打ち破り、新しい時代を切り拓いていくものと信じています。

人は、どうしても、人を並べて比較し、自分の位置を確かめようとします。比較し競争することは、自分を高めるために、時に有効です。しかし、「比較することでしか」、「順番をつけることでしか」、自分の価値を見いだせない人は、不幸です。そういう人は、自分がないものを追い求めるがため、自分の価値を認めることができません。そうして、ガラスの天井を自ら作り、自分で自分を苦しめます。そればかりか、他人にも同じ価値を求め、人を苦しめることがあります。

七戸高校は、総合学科の高校です。多様な進路目標、多様な生き方を目指すことができる学校です。私たちは、目に見える学力はもちろんのこと、目に見えない学力を大切にし、スクールポリシーに基づき、比べることではなく、「違いを認め合う」ことで、お互いの価値を高め合ってきました。それは、自分がないものではなく、自分の今ある価値に気づき、同様に他人の価値を見つけ、大切にする尊い行為なのです。

頭のいいひと、学歴の高い人、偉いとされる人、お金持ち、カッコいいセリフ、一部のヒーローが社会を作るではありません。皆さんや私達のようなものが、多様な価値を認め、社会を支えようとする「意志」を持って生きるからこそ、新しい時代が作られることを忘れてはなりません。このことは、教職に携わり多くの若者を見守ってきた私が確信を持って言えることです。どうか皆さん、このことを学んだ七戸高校での学びに誇りを持ち続けてください。

さて、三年前の集会で、私は、ここにある、枯れたこの柏の葉のお話をしました。その後、校長室に3年間置いたものです。いまだに葉を落としていません。私たちの校章は、三枚の柏の葉の中央に七高という文字を入れたもので、三枚の葉は「真理の勝利」「生命の尊重」「農業・産業の発展」を象徴しています。柏の葉はこのように、どんなに冬の北風が厳しく

とも葉を落とすことはありません。そして、春5月頃、新芽が出るときに、一斉にその葉を落とします。皆さんが、しっかりと成長し、やがては、この地域の歴史・文化・伝統を継承し、新しい時代を作って行くことへの願いが、この柏の葉に込められています。私たち教職員を含め、皆さんの保護者、地域の皆さんは、その時を待っています。これから、皆さんには、多くの困難がおとずれることでしょう、見えないガラスの天井に打ちのめされ、悔しい思いをするときが必ずあります。それでも、故郷を思い、ここで学んだように、正しく学び、目に見えない人とのつながり、社会とのつながりを知り、正しく人を頼り、何度でも立ち上がることで、この柏はようやく古い葉を落とすことができるのです。

ご来賓の皆様、地域の皆様。 私たちの生徒は、今、私たちの手を離れ、皆様方と共に社会を生きていくことになります。成年年齢とはいえ、社会人としては全くの初心者です。いましばらくの間、「柏の葉」に込められた願いのごとく、どうか、見守っていただくことを切にお願いいたします。

保護者の皆様。 これまでのご支援に感謝申し上げます。今、多くの生徒がこの日を境に、これまでの保護者の皆様との生活圏から離れて行きます。「こんなにも早くこの日が来るとは」と驚かれていることと思います。後になって、あれが最後の日だったと、子どもとの思い出を振り返ることがあります。本日、皆様のお子様は、高校生活最後の日を迎えました。この卒業は、保護者の皆様の人生におかれましても大きな節目の日であると拝察いたします。心よりお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん。 いよいよお別れです。この約50億年の生命の歴史を持つ地球上で、人間の一生は本当に短いものです。ましてや、高校生活の数年間、ほんの一瞬の出来事です。しかし、それだからこそ、ここでの出会いは、奇蹟であり、皆様との二度と戻ることのない貴重な日々をともに過ごすことができたのは、私たち教職員の大いなる喜びです。

皆さんは、七戸高校を選んでくれました。そして、かけがえのない大切な青春時代を我々と過ごしてくださいました。

本当にありがとうございました。

皆さんが、母校に誇りを持ち、いつでもこの学び舎に帰ってこられるよう、私たち教職員一同は、七戸公営柏葉塾の皆様、地域の皆様と手を携え、この地域になくてはならない学校づくりをこれからも力強く進めて行くことをお約束いたします。そして、皆さんの今後の人生に幸多からんことを願い式辞といたします。

令和六年三月一日

青森県立七戸高等学校

校長 森田 勝博（もりた かつひろ）